

離島架橋により医療事情が改善

【瀬底大橋の整備効果】

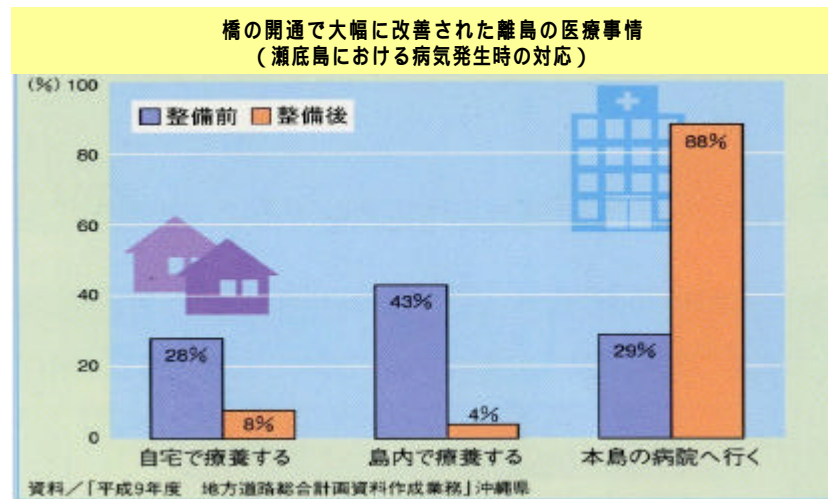
昭和59年に瀬底大橋が開通

- ・人口約1,000人の瀬底島と沖縄本島を結ぶ離島架橋が開通
- ・架橋前は、本島への移動手段は小型フェリー



医療事情が改善・精神的にも安心

- ・架橋後は、住民の88%が本島の病院を利用
- ・乳幼児やお年寄りのいる家庭にとっても安心



離島架橋により生活苦が解消

【浜比嘉大橋の整備効果】

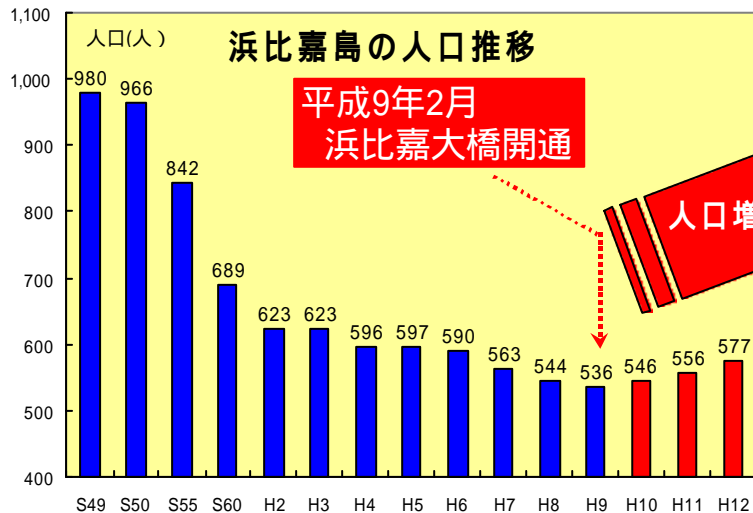
平成9年に浜比嘉大橋が開通

- ・人口約600人の浜比嘉島と沖縄本島を結ぶ離島架橋が開通
- ・架橋前は、本島への移動手段は小型フェリー



生活苦が解消・人口増加へ

- ・医療・消防などの緊急時への対応、消費生活、通勤通学など、島民の暮らしの問題が解消
- ・人口が増加へ転換



●読者新聞の紹介記事抜粋

●読者新聞の紹介記事の概要

「救急車も来てくれる」

本島並みのくらしへ変

- ・船便を気にせず時計もみない
- ・貨物車が商店まで運んでくれます
- ・朝刊が夜明け前に届くようになった
- ・島内へのデイケアの申請ができた
- ・サトウキビの栽培が可能になった
- ・自動販売機の増設
- ・セールスマンの訪問